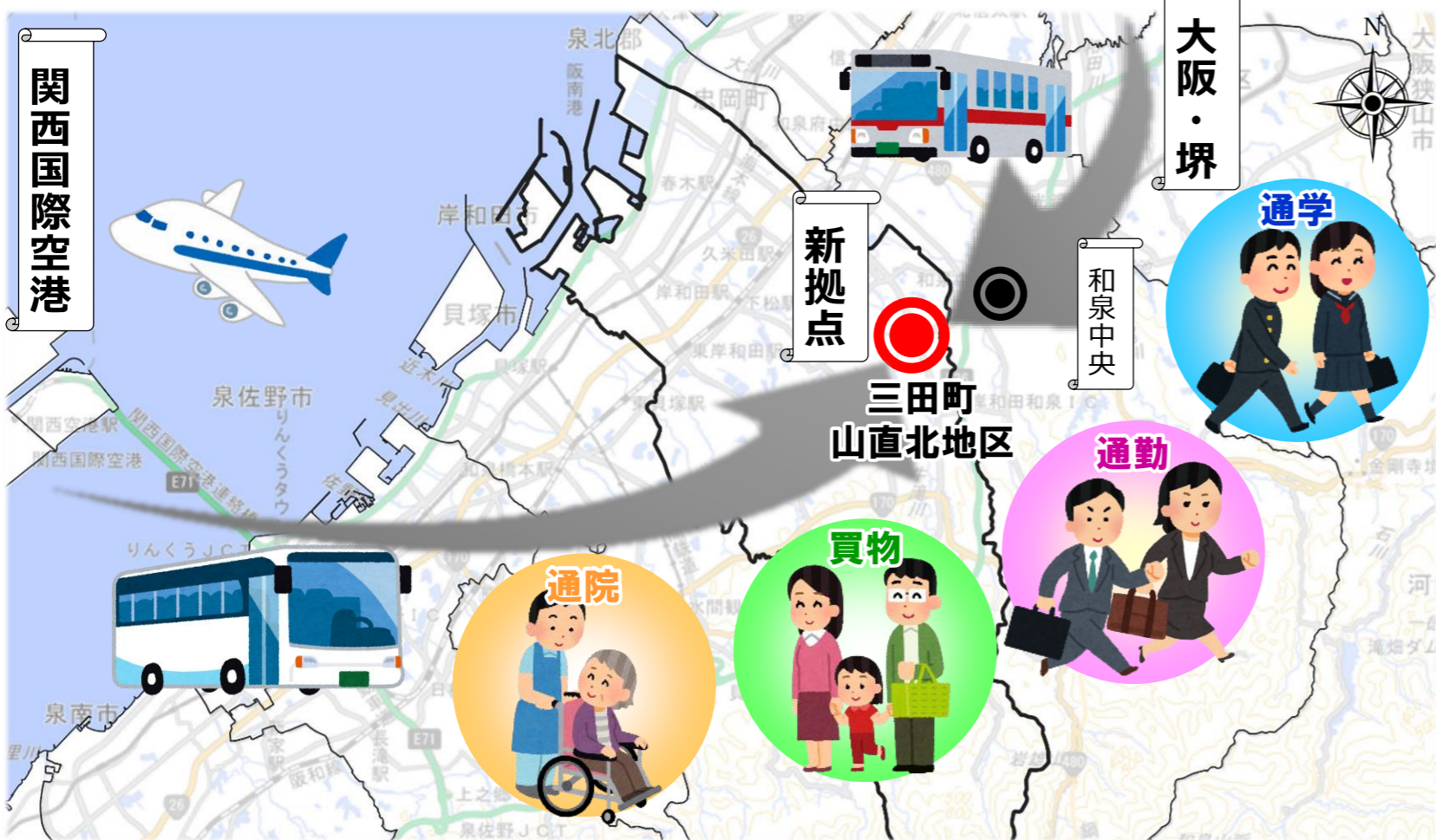


公共交通軸の形成に向けた取組

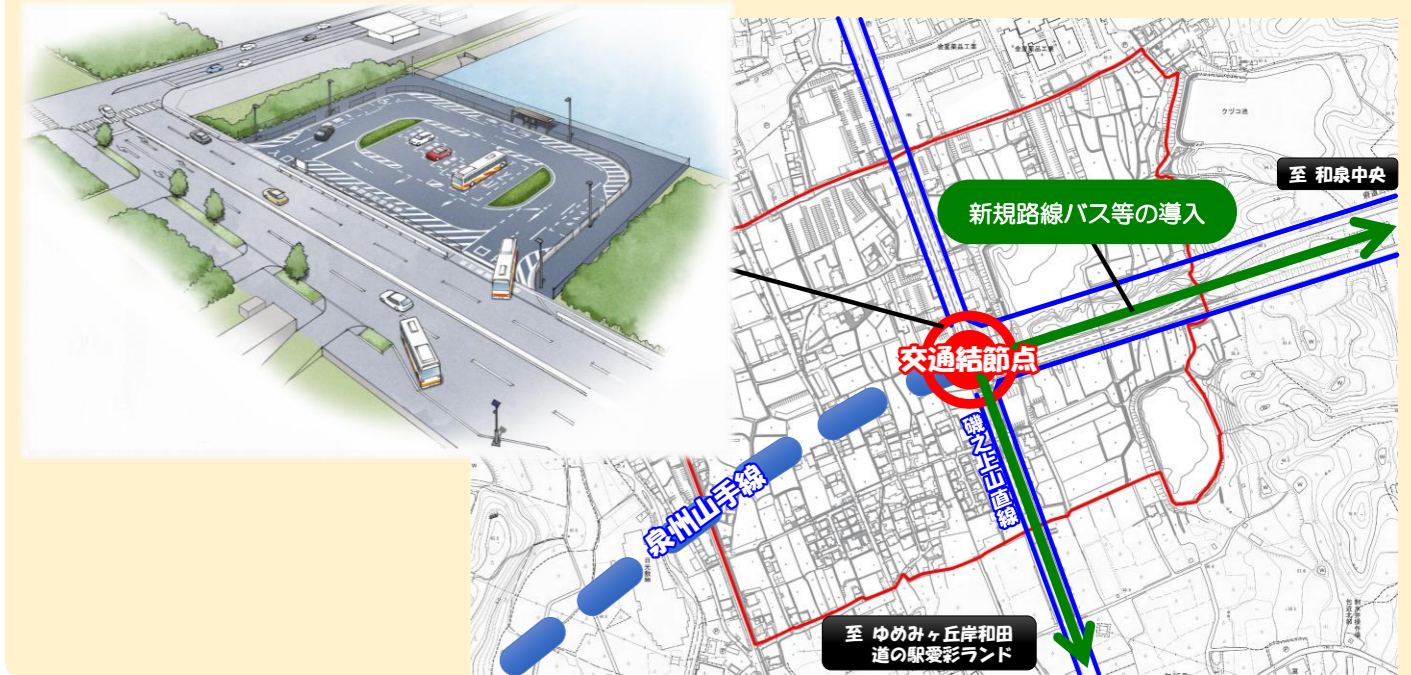
泉州山手線と沿道まちづくり手法の検討（ウラ面参照）と並行して、岸和田市では「より便利」、「より暮らしやすい」まちを実現していくために、第一段階として新しく拠点となる山直北地区で、バスなどの公共交通を充実させるなど、より魅力を高める公共交通軸の形成に向けた取組を行っています。具体的には、和泉中央駅を結ぶ路線バスや、関西国際空港を結ぶリムジンバスなど、大阪・堺と空港を結ぶ軸、通勤・通学等のための足としての利用を想定しています。

公共交通軸のイメージ

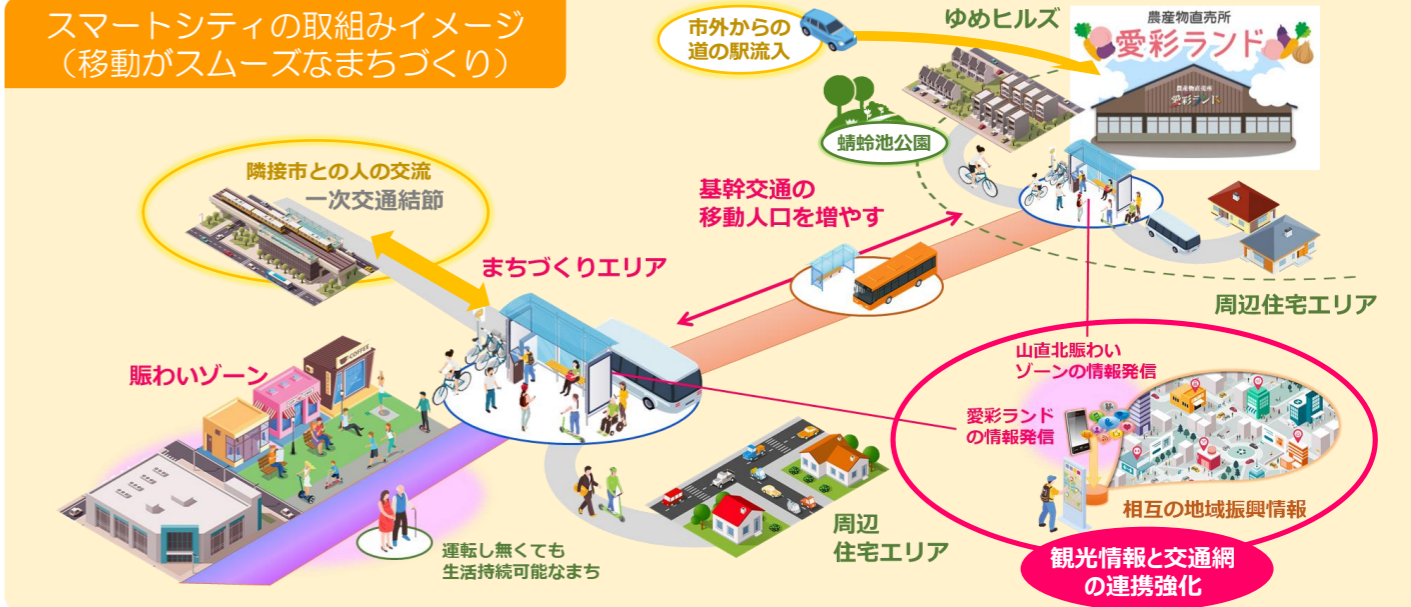


新たな拠点 (仮称)新拠点交通広場

交通広場イメージ



スマートシティの取組みイメージ (移動がスムーズなまちづくり)



城と祭りと輝く未来 岸和田市制100周年

岸和田市100周年記念事業

泉州山手 未来への懸け橋 プロジェクト

～ 次の100年へ、新たな拠点を作ります。～

岸和田市制100周年である令和4年度に (仮称)新拠点交通広場が完成し、秋頃には和泉中央駅からのバスの運行やスマートシティの取組みを通じて、公共交通を中心とした移動がスムーズなまちづくりを目指します。

問合せ先

岸和田市まちづくり推進部都市整備課

電話:072-447-6526

FAX:072-437-9171

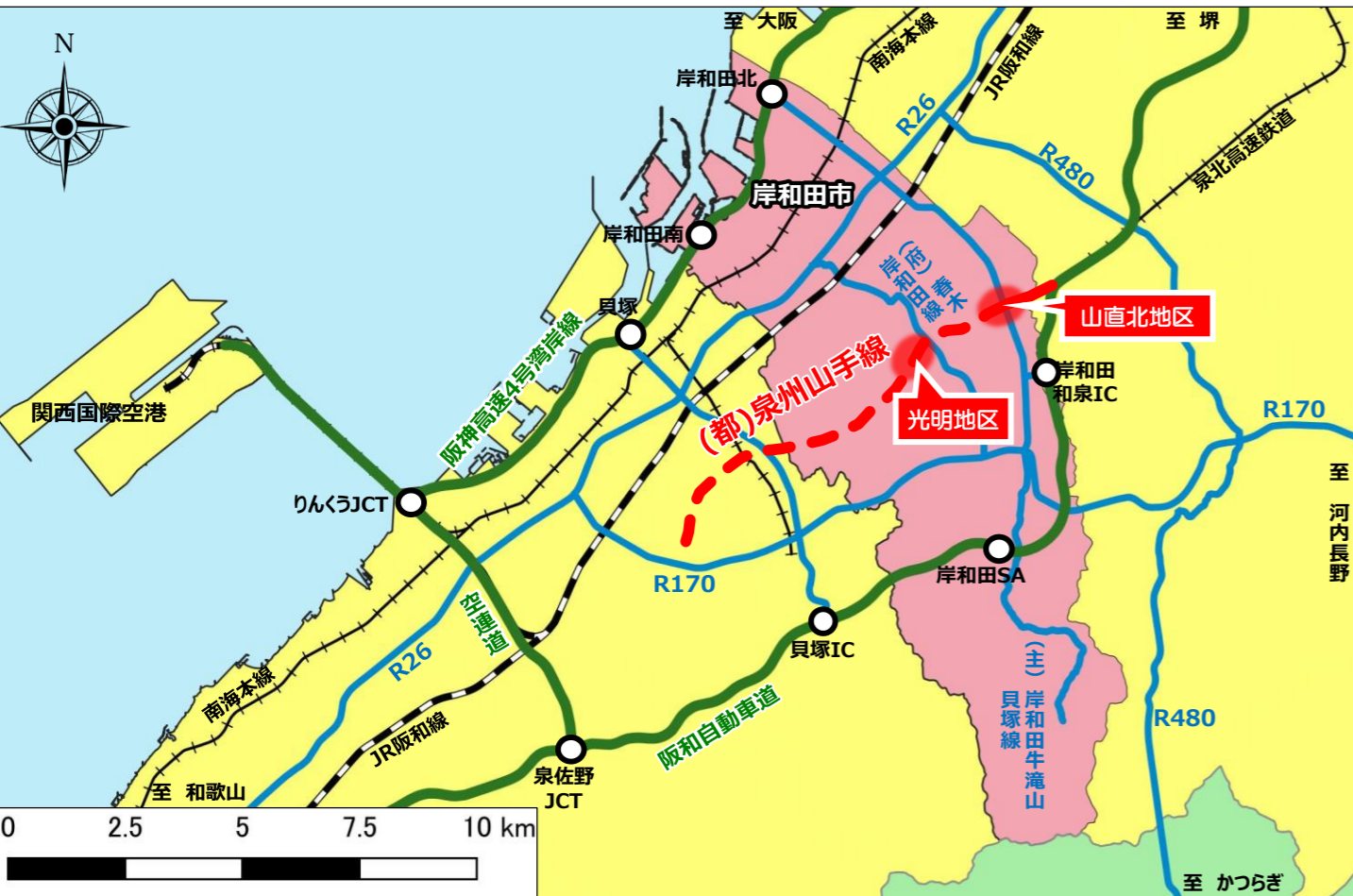
メール:toseibi@city.kishiwada.osaka.jp



都市計画道路 泉州山手線のいま

都市計画道路泉州山手線は、大阪都心部と関西国際空港を繋ぐ泉州地域の丘陵部における広域幹線であり、泉州地域のみならず南大阪の魅力を高める新たな交通の軸として計画されている道路です。また、南海トラフ地震や台風等の災害に備え、沿岸部の交通の軸とともに、大阪都市圏の安全・安心を高める丘陵部の交通の軸としても計画されている路線でもあります。

そのうち、岸和田市区間においては、岸和田牛滝山貝塚線から熊取町の国道170号までの区間(約9.5km)について、大阪府による事業化が予定されています。岸和田市では岸和田牛滝山貝塚線(磯之上山直線)から春木岸和田線(岸和田中央線)までの区間が先行して事業化する工区となっており、両道との結節点となる2地区(山直北地区・光明地区)で取組んでいる、沿道のまちづくりと合わせて整備が進められる予定です。

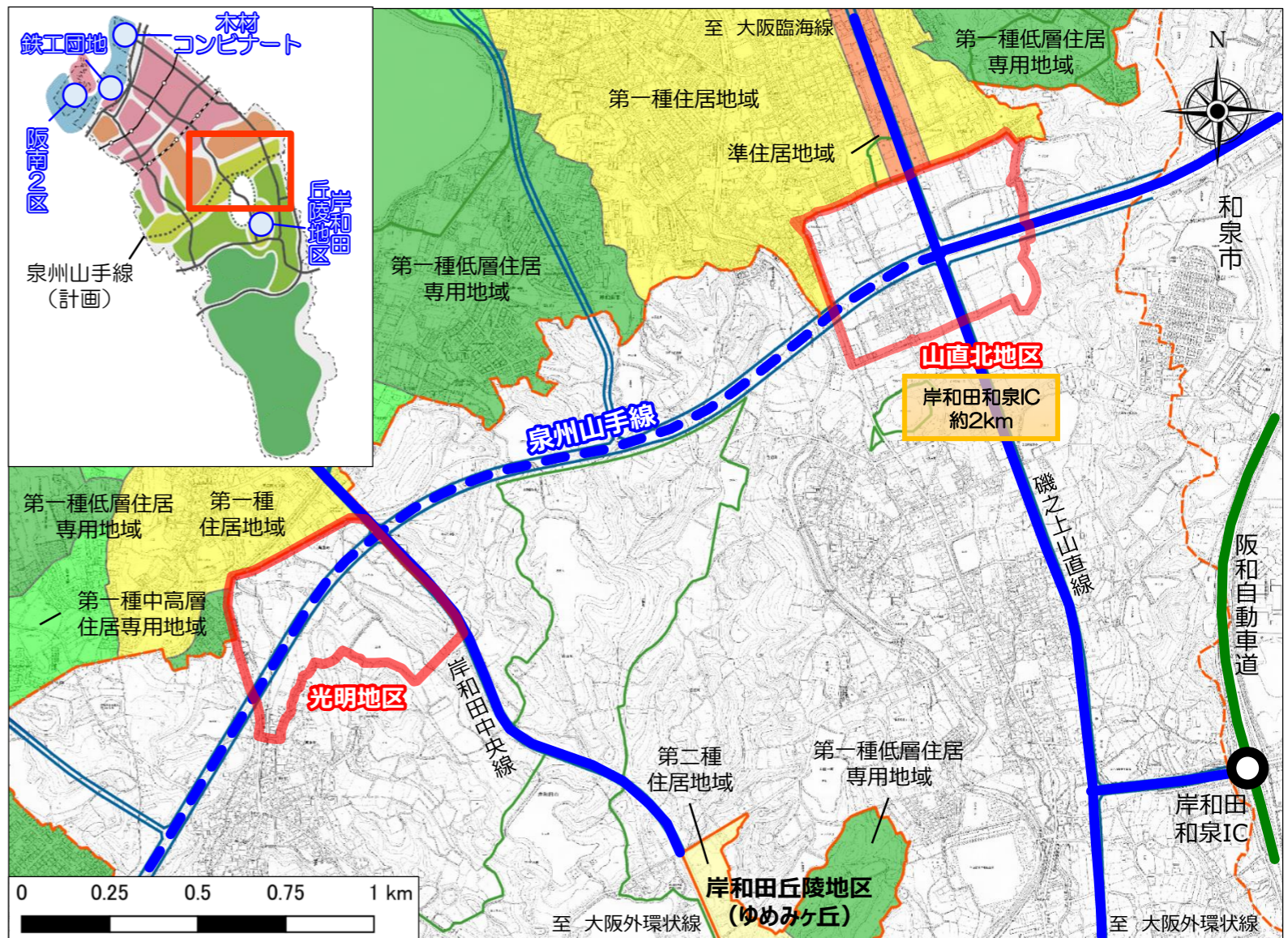


航空写真と事業着手工区



泉州山手線沿道のまちづくり

泉州山手線沿道では、地域の活性化につながる計画的なまちづくりに取組む必要があることから、「泉州山手線沿道のまちづくりの方針」を策定し、山直北・光明地区で土地区画整理事業等のまちづくり手法について、地元住民の方と検討しています。特に、山直北地区では地元主体の「山直北地区まちづくり研究会」と事業化検討パートナーの「(株)フジタ」で、事業化に向けた具体的な取組みを進めています。



基本構想図(素案)



※基本構想図の内容は、あくまで現段階のイメージです

